

2021 年度（令和 3 年度） 若草幼稚園 学校関係者評価

若草幼稚園の 2021 年度学校関係者評価について、PTA 役員を中心に、保護者対応についてのアンケート調査を行った。結果は、以下の通りである。

1 連絡帳の記述内容は、子どもの様子が分かるものであったかどうか。
全回答から、子どもの様子が分かるという結果を得た。

2 連絡帳の内容について

(1) 良い内容

- ・遊びにおける子どもの興味関心
- ・子どもの成長に対するねらいと援助
- ・保育者ならではの気づき
- ・子どもの話したこと、友だちの様子など、具体的な描写がある
- ・家での様子にも興味を持って、返事がある

(2) わかりづらい内容

- ・保育者の考えが書かれていないもの
- ・直近の出来事しか書かれておらず、成長や意味付けが記されていないもの
- ・伝えられた出来事の意味や全体像が分からない
- ・親が知らない面、見えない場面がほしかった。仲の良い友達のことなど、本人から聞いた

3 日々の保育者の対応について

(1) 相談しやすい、かかわりやすい保育者

- ・親しみやすく、世間話や育児全般について気軽に話せる
- ・挨拶がしっかりとでき、真摯に子どもにかかわってくれる。
- ・お迎えのとき、その日にあった具体的な姿を気軽に話してくれる
- ・年配の先生は、年上で保育歴が長いので相談しやすい
- ・いつも笑顔で、いけないことはいけないことだとしっかり伝えている
- ・ネガティブなことにも目を向けて、伝えてくれる

(2) 声がかげづらい、遠慮してしまう保育者

- ・忙しいという雰囲気を前面に出す
- ・目が笑ってない
- ・あいさつがない

- ・ほめるだけで、見通しが見えない
- ・「声かけないで」という雰囲気が出ている

(3) 信頼できる保育者とは

- ・コミュニケーションが、きちんととれる
- ・子どもが、信頼している
- ・相談内容など、保育者間で連携が取れている
- ・子どもをよく見ていることが伝わってくる
- ・保育のプロとしての矜持があり、分からないこと、知らないことに対する誠意を感じる
- ・あやふやにしない
- ・ダメな時は、しっかりダメと指導してくれる

4 人材育成についての意見

- ・保育の面でも、教育の面でも若草幼稚園は素晴らしい。だからこそ、その裏での先生の負担は大きいだろうと思う。
- ・真面目な人が多いので、聞くことはできても発言できる力がなく、伝えられない人が増えていると思うので、気軽に相談できる環境づくりが必要ではないか。
- ・先生が優しすぎるのか、言葉づかいが悪すぎるのに、注意がなかったりしていた
- ・まずは、自分の力で挑戦する機会を取らず、世話をしている残念だった。
- ・若草幼稚園の保護者は、年齢が高めでしっかりした人が多いので、20代前半の若い先生は、大変なのではないかと思う。保護者会のように、ざっくばらんに話す機会があったら、保護者ともっと気軽に話せるのではないか。
- ・今と昔では大きな差があり、「今どきの人」に合わさなければならない面もあると思うが、人として、保育者としては今も昔もないと思うので、今どきの子に負けずにトライしてほしい
- ・担任につくタイミングは、よく見てほしい

総じて、どの保育者も保護者の信頼を得ているようである。信頼される保育者とは、子ども理解ができていること、気軽にコミュニケーションがとれること、保育者同士の連携がとれていることが、試金石としてあることがわかった。また、ほめることだけでなく、その子の成長の見通しをきちんと伝え、その援助の意図まで語れる保育者が、頼れる保育者像として上がっていることもわかった。この点について、今後スキルアップしていく必要性を感じた。

最後に、保護者を前にして忙しそうにしていたり、挨拶ができないなど、コミュニケーションの基本に課題がある保育者の存在も浮かび上がったので、課題として受け止めていきたい。